

議事録

件名	令和5年度 高砂市地球温暖化対策地域協議会		日時	令和6年2月9日(金) 13時半～15時半
出席者	【委員】 土川会長、金谷委員、赤堀委員、 西村委員 、 中島委員 、 濱田委員 、 粕谷委員 、 榎本委員 、牧口委員、清州委員、加治委員、 竹内委員 、吉田委員、山本(清)委員、 山本(元)委員	事務局(高砂市生活環境部) 谷井、砂川、塚本、畑、勝部、林	場所	高砂市役所 南庁舎2階会議室2
	配布資料		<p>会議次第</p> <p>【資料1】 委員名簿</p> <p>【資料2】 高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱</p> <p>【資料3】 高砂市地球温暖化対策地域協議会の会議の公開に関する要綱</p> <p>【資料4】 高砂市地球温暖化対策実行計画の進捗状況</p> <p>【資料5】 令和5年度の取り組みについて</p> <p>【別冊】 高砂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)</p> <p>【別冊】 高砂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要版</p>	
議事内容				
1. 委員長挨拶	・委員長より開会挨拶			
2. 委員自己紹介				
3. 会議の公開について	・本日の会議は高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱に基づき公開するものとする。			
4. 高砂市地球温暖化対策実行計画の進捗管理について (事務局)	・資料4、資料5に基づき、説明する。			
(委員)	・資料4の進捗状況について、この表だけでは分かりにくいので、もう少し詳しく説明していただきたい。			
(事務局)	・最初に、温室効果ガス排出量について、昨年に改定した実行計画の中で推計方法を見直している。本市ではエネルギー転換産業部門については8割ほど占めているが、各事業者が県に対して条例に基づき報告している。県のホームページに各事業所の排出量が載っているの、そこから積み上げた数字となっている。業務その他部門、家庭部門、運輸部門については、環境省の自治体カルテから排出量を引用している。今現在で、2013年度比、25.2%温室効果ガスを削減している状況である。			
(委員)	・例えば、家庭部門で、住宅のZEHとかHEMSなど、さらに細かい項目ごとのデータは把握しているのか。			
(事務局)	・家庭部門については兵庫県の数値を人口割して出している。そのため、高砂市域1軒1軒の排出量ではなく、兵庫県全体の排出量になっている。例えば、高砂市の家庭部門で太陽光が非常に多くなったとしても、直接この排出量に反映されるのではなく、兵庫県全体に寄与するような形になる。			

(委員)	・今後もその数値の出し方をしていくのか。
(事務局)	・その予定である。各家庭ごとの設置データを把握していくことは必要だと考えているが、例えば太陽光パネルの設置に関しては、建築確認申請で把握することもできないことから、市内に設置されている正確な数字が把握できない。
(委員)	・了承。
(委員)	・高砂市のロードマップがあって、それぞれの対策もあるため、なるべく具体的に数値化していただきたい。1ページの廃棄物分野のデータについての確認になるが、これは高砂市独自のデータなのか。
(事務局)	・そのとおり、市の焼却施設の実際のデータである。
(委員)	・廃棄物分野のデータ確認だが、例えば、2020年度は2019年度から12.6%増えたという意味でいいのか。
(事務局)	・はい、そのとおりである。前年からは若干増えているが、基準年度からは減っている。
(委員)	・2ページの高砂市のロードマップについて①から④までであるが、現状の欄の年度が2008年とか2010年とか古い年度だが、どのように見ればいいのか。
(事務局)	・これは前の計画を作ったときの数値を使用している。
(委員)	・この表ではちょっとわかりにくいので、数字を記載するだけでなくグラフ化するとか、見せ方を工夫していただきたい。
(会長)	・せっかくロードマップがあるので、各項目について指標ができるような形で資料の作成をお願いしたい。
(事務局)	・了承した。
(委員)	・資料4の1ページの廃棄物分野について、2019年は8,000トンでマイナス33.3%になっている。2020年は9,000トンで増えているのに、対前年度比、基準年度比が下がっている。これは計算がおかしいのではないかと。
(事務局)	・2020年の9という数字は排出量を示しているが、その下のマイナス24.9%というのは基準年度比になるので排出量12に対して9ということになる。2019年の対基準年度比マイナス33.3%は排出量12に対して8になっている。
(委員)	・了承した。
(会長)	・こういった表も工夫して見える化すれば、市民も意識しやすくなるのではないかと。
(委員)	・今の発言のとおり、目標があって、ここをもうちょっと頑張ったらいいななどという風に、見える化というのが進捗状況を出している意味だと思うので、今後、見せ方を検討してほしい。
(事務局)	・了承した。
(委員)	・例えば、歩くことは自分の減量になるだけでなく、CO2も減らせることについて、何か啓発用のパンフレットはないのか。
(会長)	・それを、未来技術実装とかで説明してはどうか。
(事務局)	・みんなそういう意識はあると思うが、実際に取り組むようにするのは課題だと思っている。市としても効果の高いものを優先的に啓発していこうと考えている。

<p>5. 令和5年度の取り組みについて</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金に対して実績が少なすぎると思うが、その要因は分析されているのか。 ・太陽光・蓄電池ともになぜ少ないのか分かっていない。電気自動車については、令和4年度は半導体不足の影響があるが、令和5年度については車種が少ないのが影響しているのではないか。中小事業者向けのトラックは、白ナンバーに限定しているのでなかなか申請が来ない状況。中小企業脱炭素設備の補助については、申請以外に10件程度の問い合わせはある。 ・他の委員からも指摘のあったとおり、実績の表が不親切だと思う。予算と決算が一目瞭然で分かるよう工夫をお願いしたい。 ・了承した。 ・資料4のロードマップの欄のエコカーの普及台数について、415台となっている。また、高効率給湯器の導入目標の数値が書かれているが、これは高砂市だけの数字か。 ・そのとおり。 ・今はエネルギーゼロ住宅が普及しているが、それに対する補助についてはどのように考えているのか。 ・建築担当の部署で省エネ改修の補助制度がある。建築担当と合わせてPRしていきたいと考えている。
<p>6. その他</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・COP28に関連して、高砂市で何か考えていることがあれば聞かせてほしい。 ・今のところなにもない。 ・エコクリーンピアのバイオ発電について、2市2町で電力会社を立ち上げるといような話を聞いたが、何か進捗があれば教えてほしい。 ・2市2町のごみの発生によってできる電気なので、2市2町の中で循環できないか検討をしている。新電力会社を作った方がいいのか、電力会社に任せて、2市2町の中で回せばいいのかというところを、費用対効果、リスク、メリットデメリット等、分析して研究している。新電力会社を作った方がいいのかどうかは、令和6年度にリスク、価格、利用方法等についてもっと具体的に研究しようということで、今進めようとしているところである。 ・環境に携わる者としての意見になるが、太陽光パネルについては設置を進めていくのは大事であるが、一方で処分するときに有害物質を含んでいるため、そのあたりのことも意識していく必要があると思う。